

今月の言葉

李登輝さんの靖国参拝

中嶋 嶺雄

国際教養大学理事長・学長

台湾民主化の父と言われる李登輝さんと曾文惠夫人が、お孫さんの李坤儀嬢を伴って、去る六月七日午前十時に靖国神社を参拝された。作家の曾野綾子・三浦朱門夫妻も一緒に参拝された。参拝直前の午前九時半に宿舎のホテル



なかじま りゅうお
国際社会学者、昭和十一年長野県松本市生まれ。文芸士（東京外国語大学・中国語科）国際研修士（東京大学）、社会博士（同）、東京外国語大学教授、同学長、アジア太平洋大学交流機構（UIMAD）国際作務局長などを歴任。現職「中央公論」など多数の委員などを兼務。著書は『北京列強』など多数。今回、李前総統を日本に招聘した「アジア・オープン・フォーラム」の世話人代表。

ル・オークラ東京で記者会見された李登輝さんは、「兄が第二次世界大戦末期にマニラで戦死したまま、その死を最期まで信ぜずに息子は必ず生きて帰るといつてじくなつた父（李登輝）の慰霊もせず、墓も造っていない」「靖国神社が祭られてくれているので、今回ようやく東京に来ることができた機会に、これから参拝に行きます」「歴史の問題やA級戦犯の合祀などいわゆる靖国問題とは全く関係ありません」と語っていた。

参拝を終えてホテルに戻った李登輝さんは、長い間の念願が叶って本当によかったと言われ、靖国神社から頂いたという「祭神之記」とお兄様の海軍服姿のセピア色の写真を私に見せてくださった。それによると二歳半長の実兄・李登欽さんは第二特別根拠地隊に所属する海軍上等機関兵で、昭和二十年二月十五日にルソン島マニラ市で戦死している。当時の李登輝さんが岩里政男であったように、岩里武則上等兵としての戦死であった。

李登輝さんは最後に高尾で別れたまままだつたとのことで、写真のお兄さんは「どうも似てないなあ。別れたときの印象とは違う」と述べられていたが、同じ故郷で幼少の頃から李登欽さんをよく知っているという文惠夫人は、「よく似てますよ」と言われていた。

李登輝さんは、今回の靖国参拝後の講演や記者会見で、「靖国問題は自らの国内に問題を抱えている中国や韓国が作り上げたものです。それに対して従来の日本政府は弱腰でありすぎた」と語っていた。今回、李登輝さんが自ら実行された靖国参拝によって、戦争で犠牲になった人々の霊を弔う場所としての靖国神社が見事に復権した、と私は考えている。

表紙／【ひまわり】竹中俊裕

目次

| | | | |
|-----------------------|----|-----------------------|----|
| ●グラビア | 2 | ●[連載] 女性のためのいきいき広場 | |
| ●今月の言葉／中嶋嶺雄 | 3 | ／小野田町枝 | 20 |
| ●フォトグラフ | 4 | ●[連載] 地方議会から誇りある国づくりを | |
| ●特別対談 いま、歴史の書き換えが始まった | | ／吉住健一（新宿区議） | 22 |
| ～コミンテルンと昭和史の真相 | | ●ネットワーク日本会議 | 24 |
| ／小堀桂一郎・中西輝政 | 6 | ●[連載] 子育て支援塾／田下昌明 | 26 |
| ●[連載] 明治維新の群像／森友幸照 | 13 | ●[連載] 世界の偉人たちの驚き日本発見記 | |
| ●日本の文化人宣言／竹本忠雄 | 14 | ／波田野毅 | 27 |
| ●李登輝氏訪日の記／薛格芳 | 16 | ●日本会議10年の歩み⑤靖国 | 28 |
| | | ●息吹の広場 | 30 |

天皇皇后両陛下、北海道を行幸啓



北海道 6月23日から26日にかけて、苫小牧市静川で開催される全国植樹祭に出席のため、天皇皇后両陛下は、北海道を行幸啓された。苫小牧市では、天皇皇后両陛下苫小牧奉迎委員会が結成され、各地で日の丸の小旗による奉迎や、提灯行列などが行われた。

【写真提供：樽前山神社】



「米下院慰安婦決議」に抗議する！

東京 7月13日、米下院外交委員会が可決された「慰安婦問題」に関する対日非難決議案について、見直しと撤回を求める抗議書が在日米大使館に提出された。この抗議書は、有志の国会・地方議員、学者、文化人ら約220名の賛同者の下、作成・提出されたもの。米大使館へ抗議書を提出した日の午後、都内で緊急の記者会見が開かれた。(◎25頁)

広島県で初となる、日本会議広島 三原支部が設立さる



広島 6月10日、日本会議広島 三原支部設立総会が開催された。「美しい国づくり講演会」と題して、百地章日本大学教授が記念講演を行った。(◎24頁)